

平成30年度の学校評価と平成31年度の方方向性について（概要）

足立区立第九中学校

本年度の重点方針と成果

学校教育目標（目指す教育）〔教員の自己評価〕

目指す学校像 〔81.5%〕 肯定的
文武両道、人権教育の推進 組織力の強化

目指す生徒像 〔74.1%〕 肯定的
「磨く」「挑む」「思いやる」

目指す教師像 〔77.8%〕 肯定的
使命感と責任感、組織力、やさしく厳しい指導

教育の質の向上（目指す成果）

学力向上 〔本年度の成果等〕
学校での学習で努力 80.0%以上 〔84.9%〕
家庭学習 1 時間以上 70.0%以上 〔56.8%〕 ※昨年の通過率 64.9%
通過率 65.0%以上を目指す 〔55.6%〕 区：-9.2 ポイント

健全育成 昨年度比 九中：-9.3 ポイント
学校生活満足度 80.0%以上 〔88.6%〕
部活動を頑張った 90.0%以上 〔90.6%〕
学校行事を頑張った 90.0%以上 〔95.0%〕

小中一貫教育の視点に立った教育の推進
年 6 回以上の協議会等による授業改善 〔年 8 回、まとめ完成〕
児童・生徒の交流や円滑な接続 〔交流や体験の実施〕
体力向上の取組の充実 〔全国平均を超えた〕

スーパーアクティブスクール（都教育委員会指定校）
4つの視点で3年間研究、1/23 研究発表会の実施

平成30年度の調査結果の分析と、改善・充実の方方向性

〔生徒による自己診断〕

調査結果（肯定的に回答した割合：数値は%） 12 月 10～14 日実施

項 目	全体	1 年	2 年	3 年
学校生活に満足していますか。	88.6	80.9	89.9	94.7
挨拶はしっかりできていますか。	95.7	95.6	95.6	95.9
学校での学習に努力していますか	84.9	86.7	82.6	84.7
運動会では頑張りましたか。	96.0	96.2	95.0	97.0
文化祭では頑張りましたか。	94.0	90.4	96.3	95.2
部活動等では頑張りましたか。	90.6	91.9	90.6	89.3
人のためになることをしましたか。	84.4	84.9	81.1	87.1
運動やスポーツに関心を持ちましたか。	86.0	90.0	79.9	88.0
体力は高まってきたと思いますか。	83.3	85.6	77.7	86.9
家庭学習を 1 時間以上やっていますか。	56.8	60.0	39.6	69.5
いじめをしないさせないようにしていますか。	89.9	91.1	88.1	90.6
自分には良いところがあると思いますか。	78.0	75.2	73.8	85.1

- 学校生活に満足しており、学年が上がるにつれて数値が高くなっている。特に、挨拶や学校行事、部活動は、第九中学校としての誇れる特色である。
- 約 85%の生徒が、学校での学習に努力している。しかしながら、家庭学習については 60%程度であり、十分定着していないことがわかる。
- 体力向上の実感や運動・スポーツへの関心をもつ生徒が 80%を超えている。
- 自己肯定感については、第 3 学年で 85.1%と高い数値になっている。

〔教職員による自己診断〕

調査結果（教員の割合、A：とても良い・とても当てはまる、B：よい・当てはまる）

項 目	A+B	A	B
「磨く」生徒の育成	81.5	25.9	55.6
「挑む」生徒の育成	74.1	22.2	51.9
「思いやる」生徒の育成	77.8	22.2	55.6
使命感と責任感をもった教師	81.5	29.6	51.9
組織で職務に当たる教師	62.9	22.2	40.7
生徒に寄り添い優しく厳しく指導する教師	77.8	14.8	63.0
基礎学力の定着の指導	66.7	11.1	55.6
意欲を高める学習活動の指導	74.1	14.8	59.3
学校行事における主体的な運営の指導	81.5	29.6	51.9
部活動への積極的な参加の指導	74.0	33.3	40.7
小中交流と社会貢献活動の指導	70.4	7.4	63.0
体力向上と活力ある生活の推進について	81.5	22.2	59.3

- 本年度から 4 件法の調査に変えた（昨年までは A B C の 3 件法）。
- 「B」の自己評価が多い（「D」は、ほとんど無かった）。特に、使命感や責任感、学校行事及び体力と活力の指導が高い評価である。
- 生徒指導指針の「磨く」生徒の育成に力を入れる傾向にある。
- 組織としての動き、基礎学力の定着及び小中交流と社会貢献活動の指導の充実が課題である。

関係者評価：教育活動等の視察及び協議、保護者・地域の期待や願い、自己評価等の調査結果など
〔開かれた学校づくり協議会で検討し、学校を評価し次年度に向けて提言する。〕

平成31年度に向けた課題の整理

- 40 を超える小学校から入学があり、九中らしい挨拶・礼儀、規範意識、活力の伝承・発展が課題である。
- 学力向上については、基礎学力の定着の授業づくりを一層進め、生徒が意欲を高め主体的に学習する態度を育成するとともに、保護者との連携を強化し、家庭学習の習慣を確立することが課題である。
- 健全育成については、九中の誇りである挨拶や学校行事の主体的な取組を推進するとともに、いじめ許さない、人のためになることをするなど、豊かな心や自己肯定感を高める指導の充実が課題である。
- 都教育委員会指定校での体力の向上や活力ある生徒の育成の成果を発展させることが課題である。
- 義務教育 9 年間の小中一貫教育の視点から、オリンピック・パラリンピック 2020 東京大会を見据え、学力・体力・豊かな心を目指し、保護者・地域との連携を強化して、レガシーを意識した教育の充実が課題である。

平成31年度の方教育計画の重点

- 1 学力向上：基礎学力の定着、主体的に学ぶ力の育成、個に応じた指導の充実、コンテストや補充の強化、家庭学習の充実 等
- 2 健全育成：挨拶と規範意識の向上、学校行事等での主体的な態度の育成、部活動の充実、いじめを許さない社会づくり 等
- 3 体力向上：活力ある生徒の育成、体力に関する意識向上、オリンピック・パラリンピック教育の推進 等
- 4 連携強化：小中一貫教育の視点に立った体系化した指導の推進、社会貢献活動の推進、学校・家庭・地域の連携強化 等